

# 第3学年通信 No.15 (生徒の皆さん & 保護者の皆さまへ)

宮城県泉松陵高等学校33回生  
2015/11/20 発行

<http://www.shoryo.myswan>.  
文責 平山 元春

## 受験は団体戦

## センター試験まであと56日

進路が決まった人、おめでとう。今までの努力が報われましたね。  
今後は卒業に向けて全力で努力してください。そしてもう一つお願いがあります。何も特別なことは必要ありません。休み時間や放課後の環境づくり等で、まだ進路が決まってない人を心の中で応援してあげてください。

進路が決まっていない人、頑張ろう。  
周りに感謝し、自分を信じて、ひたすら努力しましょう。現役生はまだまだ伸びます。3学年は皆さんの希望進路実現を全面的にバックアップします。

# もっと勉強して視野を広げ、 情熱を傾けられるものを見つけてよう！

## 教員 平山さん

多くの先生方と生徒の皆さんに助けられて、日々学年主任や廊下の清掃など多岐に渡る業務を何とかこなしている、いま誰からも注目されていない平山さん。担当授業「日本史B(組)」の学年末考査を12月下旬に控え、今後ますます活躍は期待されていません。平山さんを訪ね、ご自身の進路ストーリーや「日本史B(組)」の見どころなどについてお話をうかがいました。

「日本史B(組)」の学年末考査では、メインの試験範囲は100ページ！今回作成予定の「日本史B(組)」学年末考査では、主人公である高校3年生の文系クラスの生徒145人を熱血指導する教員を演じています。課外授業も担当し、センター試験を始めとする入試に向けて力を付けてもらうため、教員という役を演じる上で、勉強は自然な流れでしたね。考査の内容は、大正時代以降の近現代史がメインになっているそうです。

これから進路選択を行う高校生に応援メッセージ

中学から高校時代、マイケルジャクソン等の洋楽の大きな影響を受けて育った自分は、「通訳になりたい！」という目標がありましたので、自然とその実現に向けて行動していました。しかし、3年生になってから受験科目の選択(いわゆる科目選択)を誤っていたことを知り、その後しばらく勉強に身が入らず、だらだらした高校生活を過ごしていた時期がありました。皆さんにはそのような後悔を絶対にしてほしくないとの思いから、1・2年次の科目選択では幅を狭めてしまうような選択は避けるようアドバイスをしてきたつもりです。また、特に大学時代は歴史(日本中・近世史)を専攻していましたので、ゆくゆくは博物館やテレビなどにも活躍の場を広げていければと考えています(無理でしょ!)

しかし、多くの高校生たちは将来の進路が決まらずに、悩んでいる人たちがほとんどだと思います。そんな将来の目標がなかなか決まらない人は、まずはもっとを勉強して物事を知り、自分の可能性を広げることができるよう色々なことにチャレンジしてみるのが良いと思います。先日の講演会で講師の先生がおっしゃっていた通り、「自分がやりたいと思うことは、自分の知っていることの中からしか見つけることができません」。勉強して視野を広げ、その中に何か情熱を傾けることができるものを見つけられれば、そのことが好きになったり、逆にこれは合わないなといったことが分かってきて、自分の進む道が見えてくるかも知れません。そして、本当に自分のやりたいことが決まったら、その目標に向かって一途に勉強を頑張りたいと思います。この先、就職・進学どちらをとっても、人生はずっと勉強が続きますよ。

19×8年生まれ。東北地方出身。大学卒業後、数年間の下積み生活を経て、1993年宮城県で教員デビュー。山の中の小さな高校で教員なのに生徒に間違われ、その後、商業高校や女子高校、普通高校など多くの高校に勤務。今後の活躍が最も期待されていない教員の一人。学芸員資格保持者)。

